

令和6年3月28日（木）
本町暫定庁舎第一会議室
午後7時30分～

令和5年度第2回小金井市飼い主のいない猫対策推進協議会 次第

- 1 開会
- 2 報告事項
 - (1) 令和5年度の事業進捗状況について（資料1）
 - (2) ボランティア募集セミナーについて
 - (3) その他
- 3 議題
 - (1) 今後の飼い主のいない猫対策の方向性について
 - (2) その他
- 4 次回協議会の日程について
- 5 その他

令和5年度 飼い主のいない猫 不妊・去勢手術実績

(令和6年2月1日現在)

	4			5			6			7			8			9		
	オス	メス	合計	オス	メス	合計	オス	メス	合計	オス	メス	合計	オス	メス	合計	オス	メス	合計
手術数	1	0	1	0	0	0	1	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0
手術数累計	1			1			3			4			4			4		
助成額	5,000	0	5,000	0	0	0	5,000	10,000	15,000	5,000	0	5,000	0	0	0	0	0	0
助成額累計	5,000			5,000			20,000			25,000			25,000			25,000		
予算残額	445,000			440,000			420,000			415,000			415,000			420,000		
執行率	0.9%			1.1%			3.4%			1.1%			0.0%			0.0%		
執行率累計	0.9%			1.1%			4.5%			5.6%			5.6%			5.6%		

	10			11			12			1			2			3		
	オス	メス	合計	オス	メス	合計	オス	メス	合計	オス	メス	合計	オス	メス	合計	オス	メス	合計
手術数	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
手術数累計	4			4			5			6			6			6		
助成額	0	0	0	0	0	0	5,000	0	5,000	5,000	0	5,000	0	0	0	0	0	0
助成額累計	25,000			25,000			30,000			35,000			35,000			35,000		
予算残額	420,000			420,000			415,000			410,000			410,000			410,000		
執行率	0.0%			0.0%			0.7%			1.1%			0.0%			0.0%		
執行率累計	5.6%			5.6%			6.7%			7.9%			7.9%			7.9%		

オス メス 合計
5 1 6

令和5年度第2回小金井市飼い主のいない猫対策推進協議会
会議録（要約版）

日 時：令和6年3月28日（木）午後7時30分～午後8時30分
場 所：本町暫定庁舎第一会議室
出席者：飼沼委員、木村委員、鷹取委員、田丸委員
（事務局）環境政策課 岩佐課長、荻原専任主査、石堂

1 開会

2 報告事項

(1) 令和5年度の事業進捗状況について（資料1）

令和6年1月末までの実績は雄が5頭、雌が1頭にとどまっている。予算の執行率は7.9%であるが、執行率が低い原因は過去数年間、不妊・去勢手術を実施してきた結果、飼い主のいない猫の数が減ってきたからではないかと考えられる。

動物病院でも、以前と比較すると野良猫について受ける相談数が大きく減っており、相談数の減少も地域猫活動の成果が出ているのではないかと考えられる。10年ほど前は「この猫を拾ったから診てほしい」と来院する方が非常に多かったのだが、近年では「保護猫」を連れて来院する方が増えている。今は「野良猫を拾う」という行為をしたくても、姿を見かけること自体が少なくなった。

(2) ボランティア募集セミナーについて

令和6年2月17日（土）10時～11時30分に801会議室にてセミナーを実施し、15名の市民の方が参加してくださった。

実施内容は、市の事業の取り組みや地域猫活動についての説明、求めるボランティア像や今までの事業実績などの説明を行い、その後登録ボランティア団体の紹介を行った。セミナーの後半は、猫なんでも相談会を開催し、参加者の方からの質問に対し、ボランティアの方々が回答する形式で実施したところ、終了時間になるまで大いに盛り上がった。

しかし、質問内容は「保護譲渡活動」に関するものばかりであり、ボランティアの方たちは「預かりボランティア」「現在、ボランティアをしている人の話」「子猫のミルクボランティア」等について話をした。

また、高齢者の飼育問題（今後、飼い主が施設に入所した際の猫の扱い）の対応方法に対して質問があった。こちらの問題に対しては、今後市内で

同様の飼い主が増えてきた際のことを考えて、対応方法を検討していく必要があるが、もし、猫を飼う前に高齢の方から事前に市に相談があれば、「預かりボランティア」についての紹介を行うのはどうか、といった意見が見られた。

(3) その他

東町2丁目の猫の多頭飼育について。

近隣の住民から、猫の鳴き声や臭いなどの苦情や相談がきている。しかし、家主と連絡が取れず、東京都も介入することができずに困っている。動物愛護センターに市から連絡しておく。

3 議題

(1) 今後の飼い主のいない猫対策の方向性について

地域猫の数が減ってきているので、保護・譲渡活動を事業内容に加えることができないだろうか。昨年12月に青梅市が多摩26市の自治体に「保護猫活動の補助金」について調査を実施し、その結果がまとまった。多摩26市内では8市が保護猫活動の補助金を実施しており、都内では16自治体が都から補助金をもらっている。今後、多摩8市にアンケートや調査をとる予定である。

また、補助金以外でも、地域猫や保護猫に対して市としてできることはあるはずなので、他自治体の取り組みを参考に検討していく必要がある。隣の地域と連携できることはないのか。

(2) その他

特になし

4 次回の協議会の日程について

10月上旬頃に第1回目実施予定。